

海外の動き

## ブラジルで銀行労働者がストライキ

全国で21日間継続

金融・労働研究ネットワーク

### 16%の賃上げを要求

ブラジルでは銀行労組が10月9日から無期限のストライキに突入していました。現地メディアは、10月9日金曜日時点で労組が4日目の銀行ゼネストに突入し、前日より多くの職場がストに入ったと報じていました。ストライキは26の州とブラジリア特別区に及んでいます。労働組合の全国銀行労働者連合は16%の賃金引き上げと雇用の保証、利益のより多くの配分を要求しています。また組合は労働条件の改善、過剰な目標の停止、平等な機会の保証などを要求。

組合指導者は経営者団体の全国銀行連合が、現在の経済危機に乗じて従業員と労働組合活動の権利を削減しようとしていることを批判し、経営側が十分な回答をするまでストライキを続けるとしていました。

10月6日火曜日に突入する直前まで組合代表と経営側の40時間にわたる交渉を行い経営側の5.5%の賃上げ回答を組合が拒否し、ストライキ決行となりました。

### 10%の賃上げ回答でスト終結

この無期限ストライキは、10月29日に経営側（全国銀行連合）の賃上げ提案を労組側が受諾してストライキを中止しました。銀行ストライキは21営業日に及びました。組合の16%の賃上げ要求にたいし、経営側は10%の賃上げと食事チケットの14%相当額の増額などを提案し合意にいたりしました。

経営側は当初5.5%の賃上げを提案し、ストライキが続く中で7.5%の回答をしました(10月21日)。組合はこれは、年間インフレ率9.49%をも

下回るとして拒否してストライキを続行していました。

スト期間中の賃金は労働者が12月15日まで超過勤務することでカットされません。

ストライキ期間中銀行のATMは現金補充が継続され利用可能な状態を維持されました。組合代表によると10月20日時点で22975の銀行支店のうち12567支店が閉店となっていました。

### 毎年ストライキで賃上げ実現

ブラジルの銀行労組は、毎年のようにストライキによって賃上げ要求を前進させています。昨年は労働組合が12.5%の賃上げを要求し1週間のストライキを行い18.5%の賃上げ回答で妥結しています。2013年には23営業日に及ぶストライキを行い、8%の賃上げと最低賃金を8.5%引き上げる回答を勝ち取ってストライキを終結しています。これは組合の当初の要求11.9%よりは低いです。経営側の当初回答6.1%を相当程度上回っています。また、賃上げの実現に加えてスト期間中の労働者の賃金保証も合意されました。

(ザ・リオタイムズなど現地メディア及びブルームバーグなどの英語電子版から 2015年12月)